

レッツ ICT

校内研究便り ④
令和元年 8 月
研究推進委員

1 研究進行状況

6月26日に2年生の生活、7月5日に3年生の国語、7月10日に1年生の算数で研究授業が行われました。授業者の先生、および各分科会の先生方、ご準備ありがとうございました。

【2年生活「町のすてき大はっ見」】

主に表現力の向上を目指して、生活科の授業を行いました。

町探検で地域を回り、児童が興味をもった施設ごとにグループを組んでいました。教師が撮ってきた写真を児童が自分の発表に合わせて取舍選択し、発表に向けて写真に文字を入れたり、テキストページを作成したりしました。聞き手によくわかってもらえるために、どのような写真や言葉を使ったらよいかを考えながら発表資料を作成していました。1年生からロイロノートを使用しているため、ほとんどの児童が使いこなしているということで、ICT 機器の活用の幅を広げたということでした。ICT 機器を使うことだけが発表形態ではありませんが、モデル校だからこそできる挑戦だったと思います。

【3年社会「わたしたちのまちはどんなまち」】

主に表現力（協働力）の向上を目指して、社会科の授業を行いました。

自分たちの住む地域について詳しく調査し、総合的な学習の時間と合わせて、調査したことを保護者や地域の方々（先生方）に伝える活動をしました。研究授業の時間は、発表の時間でしたが、今までの調べてきた過程がよくわかるような発表になっていました。とくに、地域ごとの特徴をまとめたキャッチフレーズは、大人側も納得するようなネーミングで、調査するポイントなどを児童がしっかり理解していることがよくわかりました。iPad を2人1台使うことで、自然と話し合い、協働力向上の一つの手だてとなりました。

【1年算数「のこりはいくつ ちがいはいくつ」】

主に思考力・判断力・表現力の向上を目指して、算数科の授業を行いました。

減法の意味理解を深めるために、児童自身がお話作りに挑戦しました。場面絵の中から、 $7-3=4$ になるような絵を見つけ、「のこりは」「ちがいは」「どちらがどれだけ」など減法を表す言葉を使って、友達に伝え合う活動を行いました。iPad 内に場面絵を保存し、すぐにかいたり消したりできる ICT 機器の利点を生かして、活動をしていました。入学して4か月の1年生でも、ペンの色を変えたり太さを変えたりと数回の技能指導で使いこなしていました。